



「バンダイプラモデル
アクションベース1」
(別売り)を使用
しています。

RGM-96X JESTA

E.F.S.F. SPECIAL OPERATIONS MOBILE SUIT



1/100 scale MASTER GRADE RGM-96X JESTA



地球連邦軍特殊作戦用モビルスーツ
RGM-96X「ジェスタ」
1/100スケール
マスターグレードモデル

RGM-96X JESTA



地球連邦軍特殊作戦用モビルスーツ
RGM-96X「ジェスタ」
1/100スケール
マスターグレードモデル

GUNDAM.INFO Search

www.gundam.info

バンダイホビーサイト | www.bandai-hobby.net/
 Fees incurred by your communication and connection to the internet are
 under customer's responsibility.
 ホームページにアクセスする際の通信料等はお客様の責任となります。



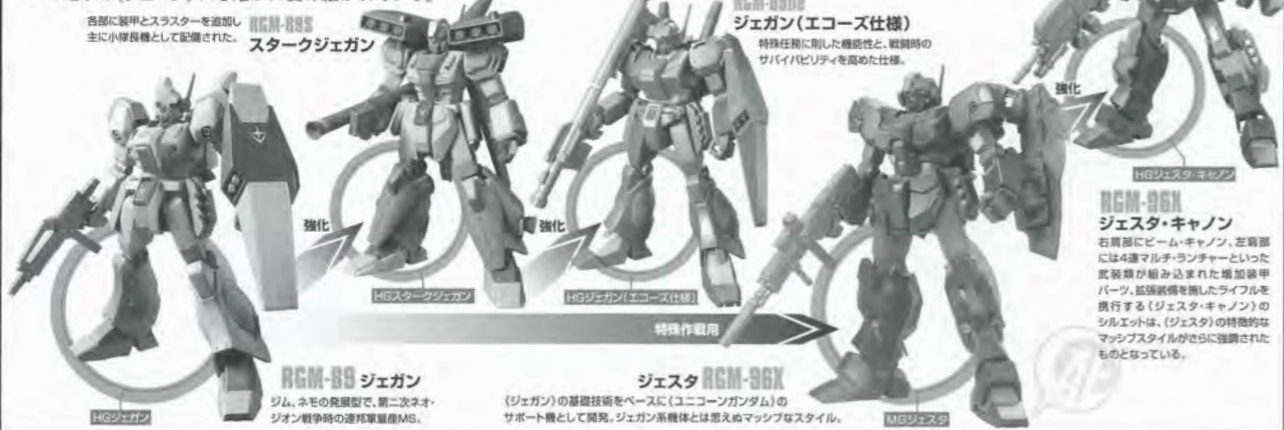
STORY

宇宙世紀0096年。開放されれば連邦政府を転覆しかねないと言われる「ラブラスの箱」を巡って、地球連邦軍のロンド・ベルとネオ・ジオン残党軍「袖付き」による戦いが勃発。バナージ・リンクスが駆る《ユニコーンガンダム》を「鍵」とする争乱は、地球と宇宙の狭間にあった超高高度の翼上で、連邦の《ネル・アーガマ》と「袖付き」の《ガランシエル》を繋ぐ煌めきを放ち、再び宇宙へと舞台を移す。だが、そこに待ち受けていたのは、「箱」の秘密に関わりすぎた彼らを抹消せんとする、連邦軍の新型旗艦《ゼネラル・レビル》の容赦ない攻撃だった。混乱する宇宙。そしてそれをさらに加速させる介入者——彼方より現れたのは、赤い彗星の再来、フル・フロンタル。



MOBILE SUIT HISTORY <特殊作戦用MS ジェスタへの進化プロセスを検証>

かつて一年戦争の戦況を大きく変えたといわれる連邦軍の名機、RGM-79《ジム》はその基本性能の高さから多くのバリエーション機、そして後継機を輩出した。名機の系譜は同時に名機を生みだし、一つのターニングポイントとなったのがRGM-89《ジェガン》である。特にD型と呼ばれる《ジェガン》の派生機は、様々な用途に対応できるオプションパーツの換装を前提としており、その方向性は基礎技術をベースとした《ジェスタ》にも確かに受け継がれている。



RGM-96X JESTA

地球連邦宇宙軍再編の一環として進められていた「UC計画」。その「中核」としてアナハイム・エレクトロニクス社が極秘裏に開発していた試作モビルスーツ、RX-0《ユニコーンガンダム》は、敵性サイコミュモビルスーツの撃破を目的とした機体であった。圧倒的な機体性能の向上をもたらせるも、5分の稼働限界時間をもつNT-Dシステム。そして絶大な攻撃力を持ちながら、カートリッジ装弾数が5発のみというビーム・マグナムの仕様を見ても、決して継戦能力が高い機体とは世辞にも評価できず、《ユニコーンガンダム》は対一対一の瞬間的な最大戦力行使する設計がなされていたのである。確実な目的達成のために犠牲となった要素。それをサポートする機体が必要となるのは自明の理であり、同計画の「要」となる支援用モビルスーツの開発も進められていたのだ。開発にあたって、ベースとなる基礎技術は生産性、そして拡張性の高いスタンダード（標準）な量産機体が求められたという。この年代において該当する機体は当時の連邦軍主力量産モビルスーツ、RGM-89《ジェガン》以外には考えられず、オプションパーツによって様々な仕様機が存在する《ジェガン》の運用データは支援機の開発に極めて効果的に作用したとされる。そうして宇宙世紀0096年に

完成した機体は、当初の予定通り《ユニコーンガンダム》に追随し、あらゆる局面において完璧な支援行動を可能とする「スペシャル・スタンダード」なモビルスーツとなった。それがRGM-96X《ジェスタ》である。本機は細身が身上的ジェガン系機体とは思えぬマッシブなスタイルを形成しており、肩や脚部に配された重厚な装甲は見た目通りの堅牢さを誇っている。一般兵士と言うより専用装備に包まれた特殊部隊の一員を想起させるその体軀は《ジェガン》に比べて一見鈍重な印象を受けるが、発生した増加重量を容易にうち消す推力機関と機動性によって、実際の特殊部隊のように一般兵士の先をゆく合理的且つ迅速な行動を体現するのである。作戦域に不特定多数存在する通常敵戦力の制圧を複数の《ジェスタ》が速やかに行うことによって、はじめて《ユニコーンガンダム》は最小限の消耗で敵の中核戦力と直接対峙することが出来る。つまり連邦軍によるニュータイプ狩りの舞台を整える露払い的な役割を持った本機は、あらゆる戦況に対応可能な運用を求められながらも、不特定多数の敵戦力に対して「確実にかわし、当てる」技量を示せるパイロットの操縦を前提とした機体となった。新型機評価試験の名目で、本機は地球連邦軍のロンド・ベル隊旗艦《ラー・カイラム》へ計12機が配備されている。

MECHANISM



HAND GRENADE 投擲兵器であるハンド・グレナードは《ジェガン》と同規格のものを採用しており、機体両腰部のグレナード・ラックに3基ずつ収納されている。小型ながらそれ自身が推進能力を持ち、モビルスーツの扱う兵器としてコンパクトかつコストパフォーマンスに優れた特殊擲弾は設置箇所の選択肢も広く、《ジェスタ》の重装仕様では効果的な増装が行われたという。

BACK PACK バックパックは《ジェスタ》自身の「要」として完全新規に開発が進められた。備えるスラスタ総数は2基のみという極めてシンプルなレイアウトが採用されているが、そこには同じ構成のバックパックを背負う《ユニコーンガンダム》に追従しうる極大な推力性能が秘められているのである。また、重装仕様をはじめとする複数種設定されたオプションパーツの増設を前提とした設計が行われており、機能拡張性も高い。

TRISTAR



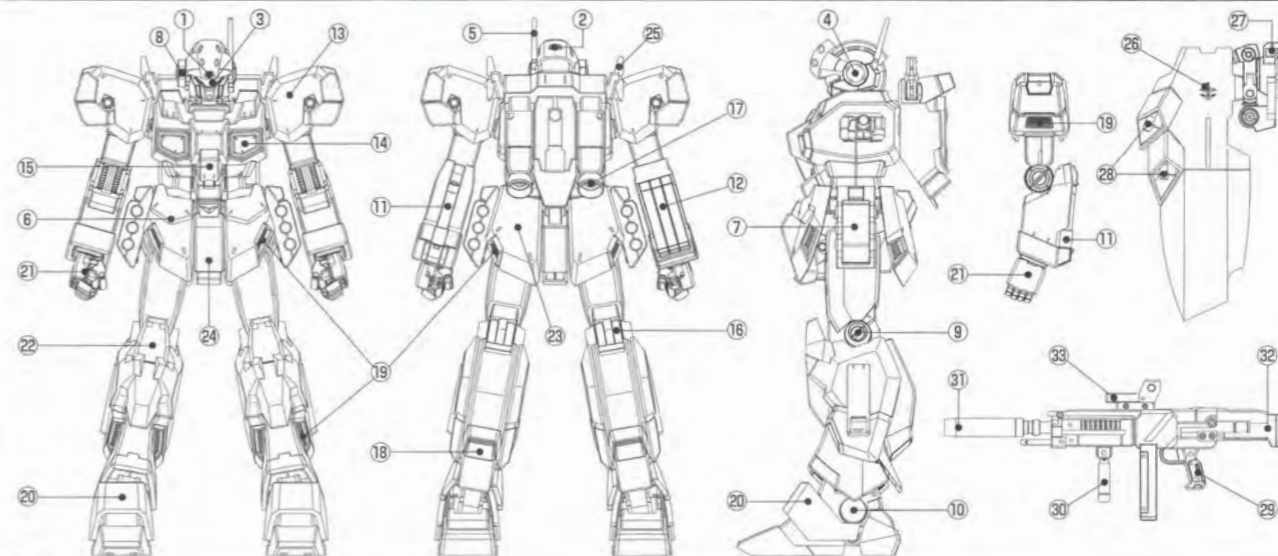
地球連邦宇宙軍のロンド・ベルに所属するパイロット3名で構成されたエース・パイロットチームの名称。彼らは本来「UC計画」において《ユニコーンガンダム》のテストパイロットになる予定であったが、その計画は中断し《ジェスタ》の評価試験に参加することとなった。操縦手腕は折り紙付きで、特に小隊連携の正確さは群を抜いており、連邦軍部内の評価も非常に高い。

ナイジェル・ギャレット大尉 トライスターのリーダー。クールな風貌の優男を自認しつつ、臆面もなく上官を批評する実力の持ち主。

ダリル・マギネス中尉 ラテン系で浅黒い顔に縮れた髪（ヒョウマツ）の男性。飄々とした雰囲気だが、油断ならない剣呑さ（ツバサ）も持ち合わせている。

ワッツ・ステップニー中尉 直情径行の飾らない性格の威丈夫で、血の気の多さはトライスターでも一番。

Parts and spec RGM-96X JESTA



- | | | | | |
|---------------|-----------------|----------------|-----------------|------------------|
| ① メインカメラ | ⑧ バルカン・ポッド・システム | ⑬ コックピットハッチ | ⑳ ニーアーマー | ㉑ ライフルグリップ |
| ② リアカメラ/センサー | ⑨ ニージョイントアーマー | ⑭ パワーサプライヤー | ㉒ リアアーマー | ㉒ フォールディンググリップ |
| ③ サブカメラ | ⑩ アンクルジョイントアーマー | ⑮ メインスラスタ | ㉓ ベンチレートボックス | ㉓ DFT/ACEマズルユニット |
| ④ サブセンサーアレイ | ⑪ ビーム・サーベルラック | ⑯ サブスラスタ | ㉔ マルチオプションラック | ㉔ ライフルストック |
| ⑤ マルチロッドアンテナ | ⑫ スペアマガジンラック | ⑰ 姿勢制御バーニア | ㉕ エンブレム | ㉕ ナロウレンジセンサー |
| ⑥ フロントアーマー | ⑬ ショルダーアーマー | ⑱ アンクルサポートユニット | ㉖ フレキシブルアームユニット | ㉖ ミサイル |
| ⑦ サイドグレナードラック | ⑭ インテークダクトアーマー | ㉗ マニピュレーター | | |

注意

必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れてください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

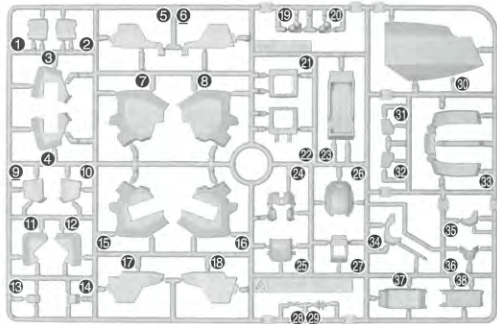
〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
 - 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
 - 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
 - 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
 - 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

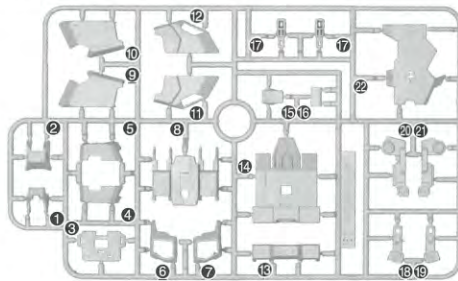
パーツリスト

(×印は使用しないパーツです。)

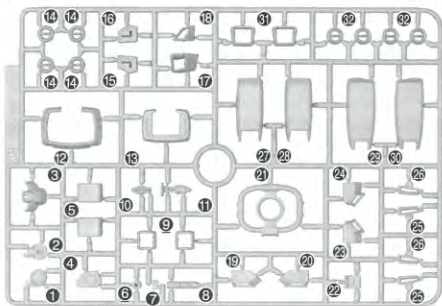
Aパーツ(イロプラ) (スチロール樹脂: PS)



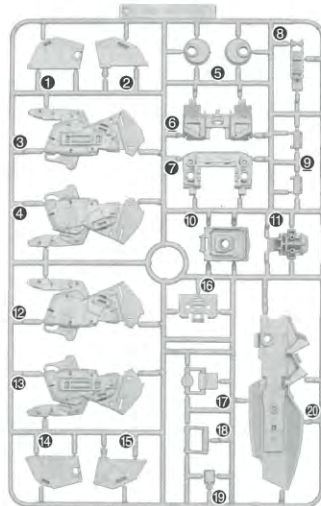
Bパーツ(ダークブルー) (スチロール樹脂: PS)



Cパーツ(ブルーグレー) (スチロール樹脂: PS)



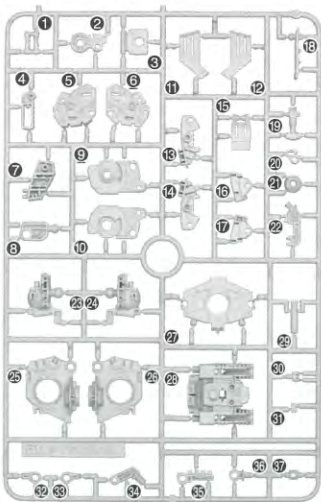
Dパーツ(グレー)
(スチロール樹脂: PS)



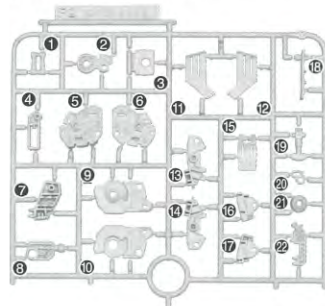
Eパーツ(グレー)
(スチロール樹脂: PS)



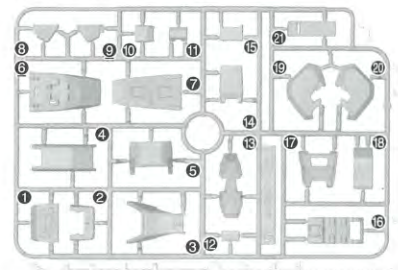
F1パーツ(グレー)
(スチロール樹脂: PS)



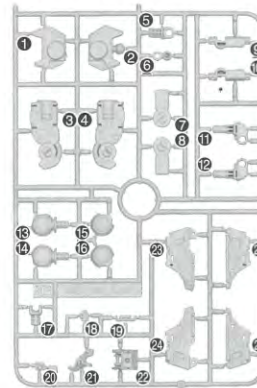
F2パーツ(グレー)
(スチロール樹脂: PS)



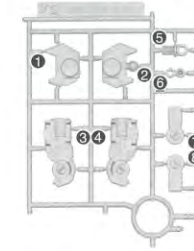
Gパーツ(ダークブルー) (×2)
(スチロール樹脂: PS)



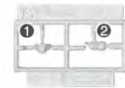
H1パーツ(グレー)
(スチロール樹脂: PS)



H2パーツ(グレー)
(スチロール樹脂: PS)



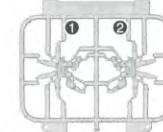
I1パーツ(クリア)
(スチロール樹脂: PS)



I2パーツ(クリアオレンジ)
(スチロール樹脂: PS)

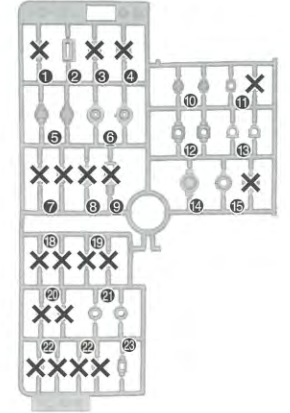


MP1パーツ(グレー)
(ABS樹脂: ABS)
(ポリプロピレン: PP)



MP1 (エモーションマニピュレーター SP) は全関節可動のため、非常に精密な造りになっています。
※各指関節は図解の矢印の方向以外には絶対に動かさないでください。
※各関節を動かすときは、関節の根元部分を押さえながら、ゆっくり動かしてください。

PC-130B(グレー)
(ポリエチレン: PE)



SB1パーツ(クリアピンク)
(スチロール樹脂: PS)



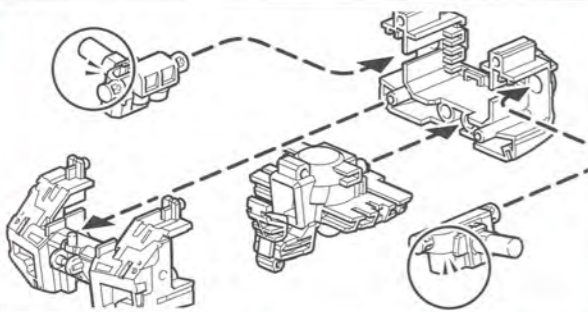
※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

カラーシール……………1枚
マーキングシール……………1枚
ガンダムデカール……………1枚

組み立て前の基本説明

部品の向きに注意してください

※組み立て図中にVのついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。



ガンダムデカールの貼りかた

①ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。

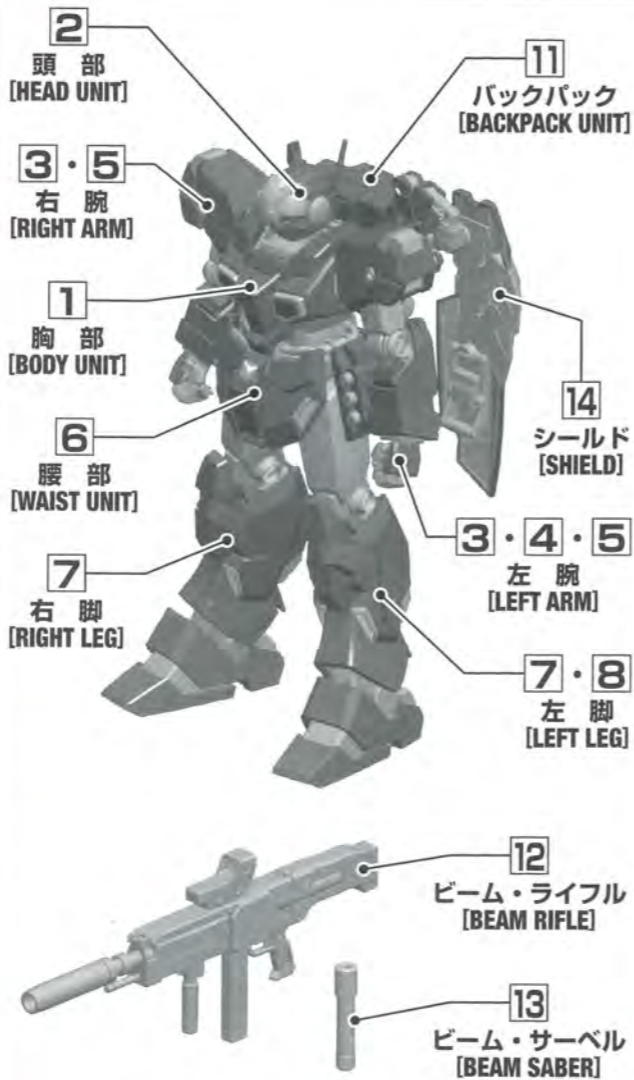


②保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、ずれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。

③シートを静かにはがし、デカールが定着していない部分が残った場合はシートを元に戻し、その部分を再度こすりつけます。

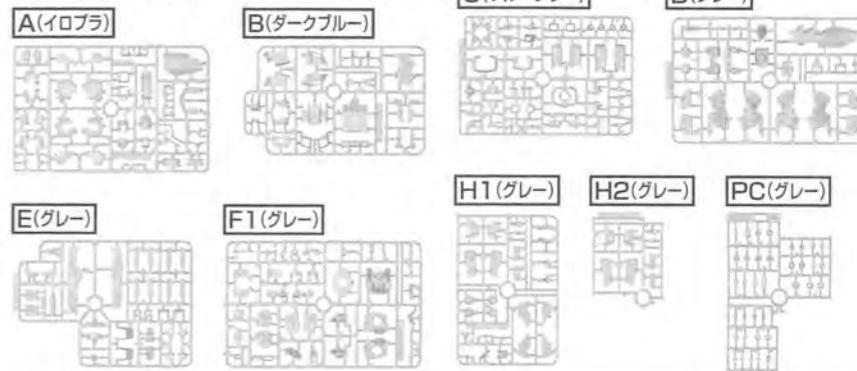
※デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

説明書をよく読んで完成させましょう



1 BODY UNIT

・組立①で使用するパーツ



1 (胸部の組立) BODY UNIT

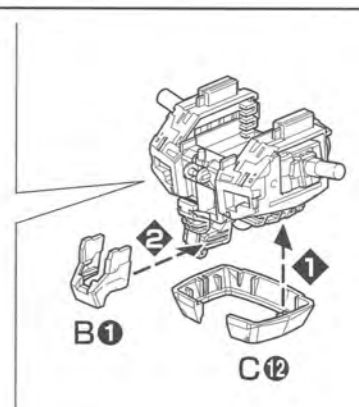
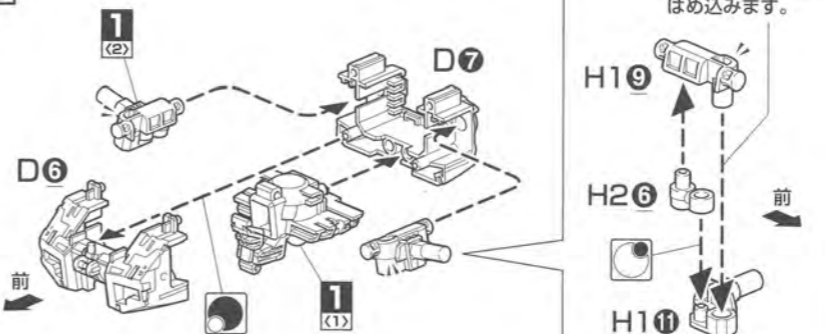
① (1)



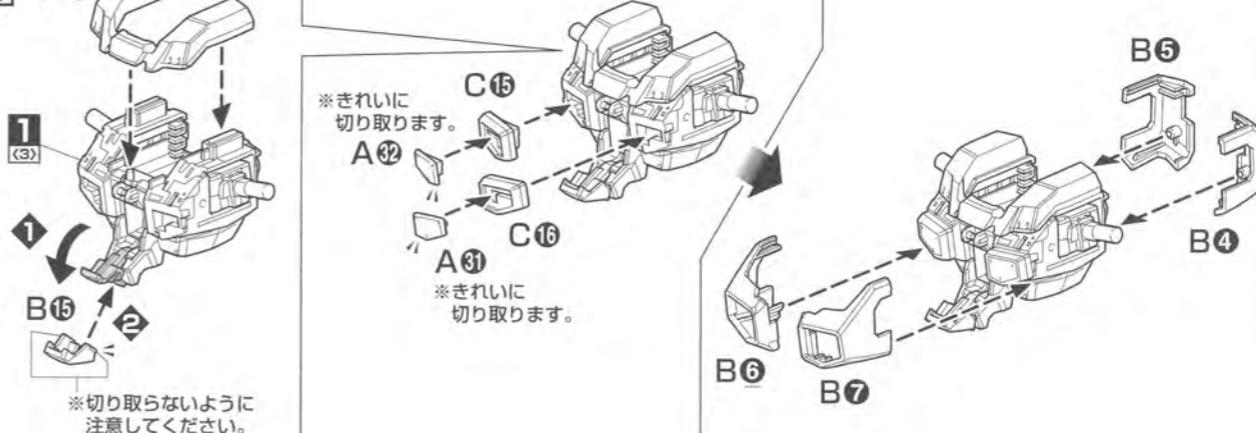
1 (2)



1 (3)

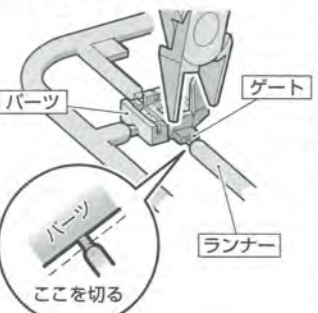


1 (4)

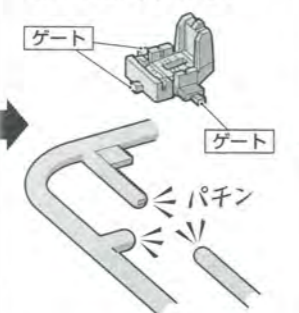


パーツの切り取りかた

①まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。



②パーツを切り離して持ちやすくしたところでゲート跡の処理に入ります。



③ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。



3 **(6)** ※**■**部分を切り取ります。
※左手(MP1②)も同じように切り取ります。

MP1①
〈右手〉

〈完成画像〉
※説明のため、手甲パーツは外してあります。

※○部分の各関節が可動します。
※各指関節(■部分)を動かすときは必ず矢印の方向に動かしてください。逆方向に動かすと破損する恐れがあります。

(中指) (薬指)
(人差し指) (小指)
(親指) MP1①
MP1②

向きをかえます。

※左手も同じように動かします。
※各指関節を動かす時は関節の根元部分を押さえながらゆっくり動かしてください。

90°

3 **(7)**

(左手も同じように動かす)

90°

5 **(1)** **x2**

E12 (F2⑤) F16
F16 (F2③) F13 (F2③)
G17 G20
G19

5 (上半身の完成)
(2) UPPER BODY

5 (1) 2で作った頭部
1で作った胸部
3で作った右腕
4で作った左腕

※奥までしっかりと、はめ込みます。

3 **(8)**

(左手も同じように動かす)

180°

A① A②

3 **(9)**

パチン

E16

〈下から見た図〉

3 (9) 〈右手〉

4 (左腕の組立)
(1) LEFT ARM

H1②④
PC10
A⑩ H1⑩

〈内側から見た図〉

※切り取らないように注意してください。

6 WAIST UNIT

・組立**6**で使用するパーツ

A(イオブラ)	B(ダークブルー)	C(ブルーグレー)	D(グレー)
E(グレー)	F1(グレー)	F2(グレー)	PC(グレー)

4 **(3)**

H1③
H1②④
A⑭

※きれいに切り取ります。

※各パーツは、全てきれいに切り取ります。

A⑭ G16
A⑰
C⑨
A⑲
E15

〈下から見た図〉

3 (9) 〈左手〉

6 (腰部の組立)
(1) WAIST UNIT

PC14
F1⑥
F1⑤
D⑥

向きをかえます。

※きれいに切り取ります。

A⑲ C⑲
A⑳ F1⑦
A⑳

U.C.0096 THE La+ MEMORY



連邦の「三連星」

激震する地球、(トリントン基地)。重力によって締め固められた大地を更に押しつぶす、生き物ではない巨人の足。ジオンという名の下に戦う彼らは、その名が亡国の意となった今でも胸に刻み、ジオン残党軍として生き続けていた。もはや正常に移動していることすら目を疑うほどの旧型モビルスーツを駆り、空へ銃弾を打ち続ける。壁とすべき連邦機の姿に、ジオンの老練パイロットはある記憶を想起せざるを得なかった。あれではまるで——。高空から飛来する楕円状のS.F.S.、ベースジャバー。その上に伏せるミディアム・ブルーに染められた機体は、あくまで補助的な接合方式でしかないS.F.S.と完全に一体化している。まだ、それはいい。そういう芸当をやるパイロットなど、長年死のやりとりに関わってきた中で何人も見続けてきた。だが、あの機体……いや、あの機体「達」の回避運動はなんだ？ 3機の編隊を崩さず、互いを完全に信用しなければ叶わない芸術的な機動。私は見たことがある。あれは一年戦争の、ジオン公国が誇るべき三連星の機動ではないか。奇しくも、そして皮肉にも、そのパイロット達のヘルメットには、等しく三連の星が輝いていた。地球連邦軍の「トライスター」と呼ばれた3人のパイロットが駆る3機の《ジェスタ》は一条乱れぬ様で、専用のビーム・ライフルをジオンの機体へと向けた——!!

星は様々に流れる

「袖付き」の偽装貨物船に告げる、直ちに停船せよ。繰り返す——再三に渡るナイジェル・ギャレット大尉の停船命令は、広大な宇宙に空しく溶け込んでゆく。彼の声が向かう先にある《ガランシェール》はそれを知ってか知らずか、船速を変えることなく悠々と航行を続けていたが、そこに戦いの気配はないとナイジェルは感じていた。明確な殺気を常に受け続けていた地球での争乱が嘘のように、三連の星は今、静かな宇宙でゆるゆると流れている。独立機動艦隊の常ではあるが、それにしてここ数日の動向はあまりにもせわしく、これも《ユニコーンガンダム》というモビルスーツが孕む影響力が——いや、自分たちが乗るかもしれないあの機体を駆るバナージ・リンクスという少年の力なのかもしれない。そう考えながらナイジェルは、編隊を組む他の《ジェスタ》を見やめた。89式の《ベースジャバー》と接合し、自身の鏡のように併せ飛ぶ二機。手前のダリル・マクギネス中尉は、チームのムードメーカーとして自分にはない要素をトライスターにもたらせる、一言で表すならカンがいい男だ。そしてその奥には重装仕様のオプションパーツに包まれ、通常より大型な体躯を窮屈そうに屈んでいたワッツ・ステップニー中尉の《ジェスタ・キャノン》が——《ベースジャバー》を蹴り上げ、未だ物いわぬ《ガランシェール》へと突進していく。そうだ、誰よりもトライスターというチームに誇りを抱くあいつが、この状況を黙って見ているはずはない。広大な宇宙に、ナイジェルのため息が小さく響いた。



※画像はイメージです。

PAINTING (塗装)

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

RGM-96X ジェスタ 指定色

- 本体などの塗装色
ネービーブルー(70%)
+インディブルー(15%)
+ブラック(15%) + パープル(少量)
- 大脚部などの塗装色
ブルーグレー(90%)
+ブラック(10%)

- エリなどの塗装色
ブルー(50%)
+パープル(40%)
+ブラック(10%)

- 武器などの塗装色
グレー(80%)
+ブラック(20%)

- シールドのミサイルなどの塗装色
明灰白色(100%)

- 側頭部センサーなどの塗装色
デイトナグリーン(70%)
+ホワイト(30%)

- 腰V字、足裏などの塗装色
イエロー(80%) + オレンジ(15%)
+ニュートラルグレー(5%)

FIGURE 連邦軍パイロット

- ノーマルスーツの塗装色
グレー(80%) + ホワイト(30%)
+コバルトブルー(10%) + ブラック(少量)
- ノーマルスーツブーツの塗装色
ホワイト(90%) + ニュートラルグレー(10%)
- ノーマルスーツ 肩内側、ヘルメット グレー部の塗装色
グレー(70%) + ブラック(30%)
- ヘルメット バイザー部の塗装色
ペールグリーン(50%)
+エメラルドグリーン(50%)



ワンポイントステップ ~One point step~

スミ入れしてみよう!
ガンダムマーカー/スミ入れ用(別売り)などを使用して、キットのスジ彫りを塗装することで、立体感、リアル感が増します。スミ入れするだけで見違えるような仕上がりになります。



[before]

[after]

MECHANISM

MANIPULATOR

技術の革新は強さばかりではなく、柔らかさをもたせざるを得ない。人の手を模した《ジェスタ》のマニピュレーターは、基本構造こそ旧来のユニットと大きく変わりようがないものの、それらを構成する最新の内装部品が生み出す駆動部の繊細さは、もはや比喩にもならない。耐久力はいまでもなく、敵機とのマニピュレーター単体での打突戦、いわゆる殴り合いを経てもなお機能性を損なうことのないレベルまで達した。



BEAM SABER

機体左前腕部のサーベルラックに収納した、スタンダードな白兵戦用装備。取り出す際はラックを前方に高速展開する。ユニット外形こそ《ジェガン》と同様の規格品が採用されているが、内蔵のビームエミッターが生み出すビーム刃の最大出力は遙かに向上しており、標準的なモビルスーツとの戦闘で打ち負けることはない。なお、右前腕部はビーム・ライフル用の予備マガジンをマウントしている。



HEAD 文字通り《ジェスタ》の顔となるヘッド・ユニットは《ジェガン》と同様のバルカン・ポッド・システムを採用する連邦量産型モビルスーツ然とした形状でありながら、ヘッドギアを想起させる大型のマルチセンサーとバイザー内部に備えたカメラユニットは現時点における最新技術が惜しげもなく投入されており、従うべき《ユニコーンガンダム》を狙う複数の敵機を瞬時に感知、捕捉しうる性能を示す。



「ガンブラ用LEDライトユニット2個セット(赤)(別売り)を一つ組み込むことで、バイザー内発光可能。
※画像はイメージです。
※本商品にはLEDライトユニットは付属しておりません。

SHIELD 本機の専用シールドは、機体背面部のバックパックに着脱式のフレキシブルアームユニットを介して接続するという珍しい機構を持ち、通常時は背面に回り込むことによって、シールドレス時と等しく腕の可動領域を阻害しない防御行動を獲得した。側面部には《ジェガン》のシールドにも設定されている連装ミサイルランチャーと同等の補助内装兵器が組み込まれている。



BEAM RIFLE 速射性に優れた専用のビーム携行火器。加速/偏向装置を追加し、通常の物よりも伸長した銃身が特徴であり、グレネードユニットをはじめとした拡張装備を組み込める機構も有している。通常射撃モードの他に、ビーム・マシンガンのような連射モードへの切り替えも可能。この時代における連邦軍側の携行火器は容量の違いこそあれ、基本的にマガジンコネクターの規格統一が図られている。本機も例外ではなく、《ジェガン》や《リゼル》と共通規格のマガジンを使用している。

アニメ「機動戦士ガンダムUC」に登場する高性能MSをMGで検証せよ!!

RX-0
ユニコーンガンダム(別売り)

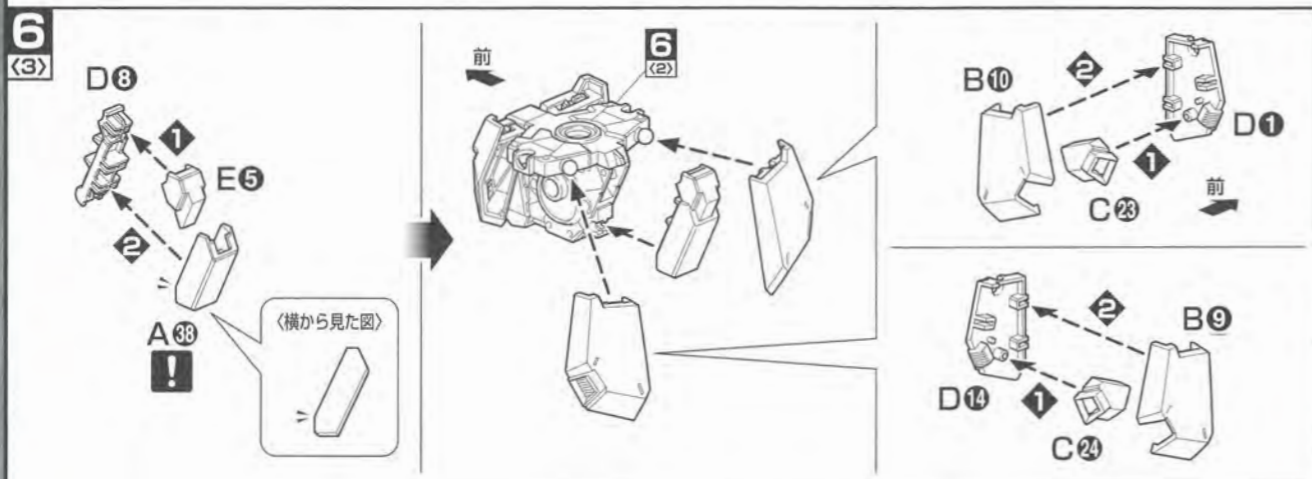
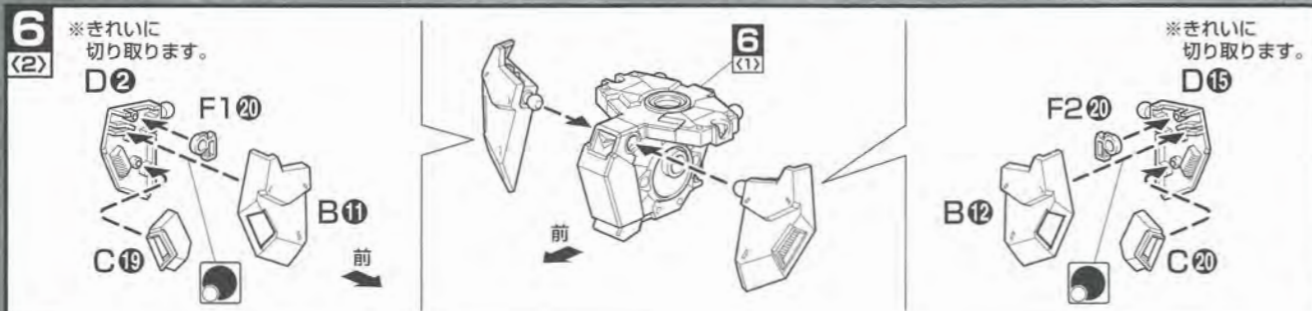
映像版の機体色、ディテールを表現しながら、ユニコーンモードとデストロイモードへの《変身》を完全再現。

RX-0
ユニコーンガンダム2号機バンシィ(別売り)

ユニコーン/デストロイモード双方の形態に加え、新武装アーム・アーマーBS&VNも再現した漆黒の金獅子。

MSN-001
シナンジュ(別売り)

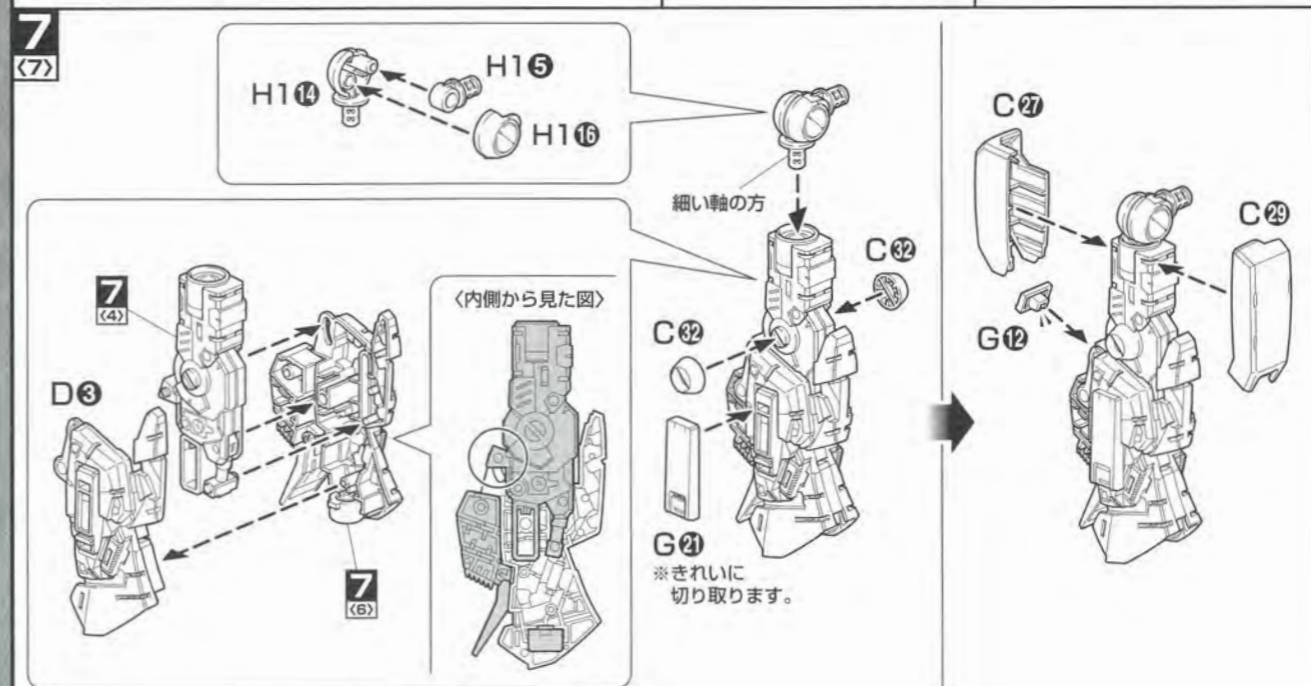
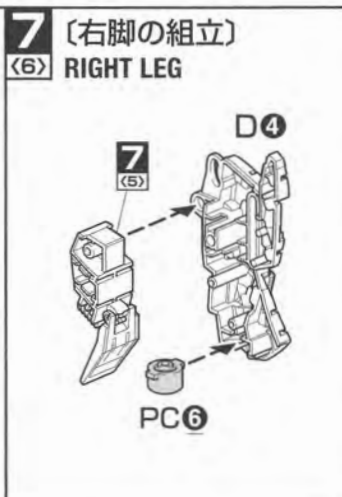
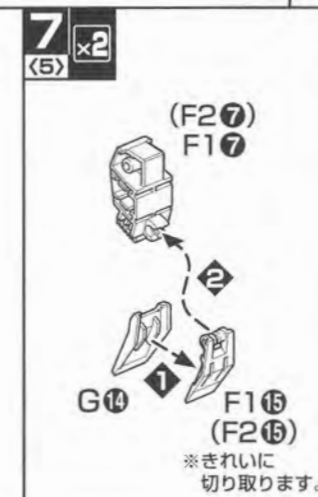
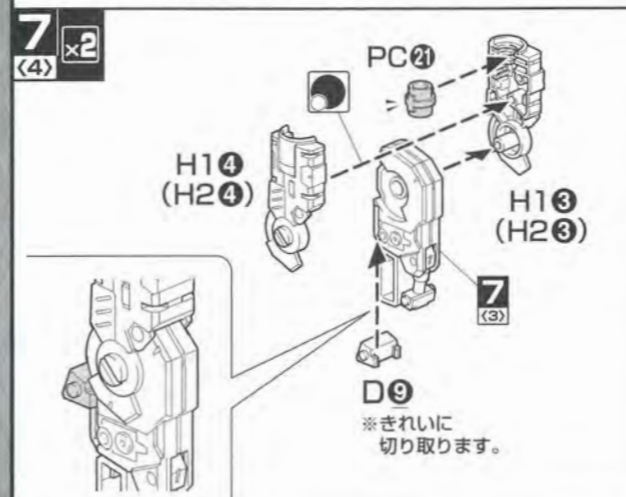
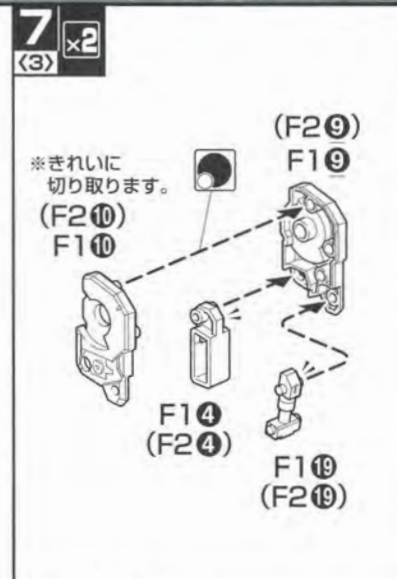
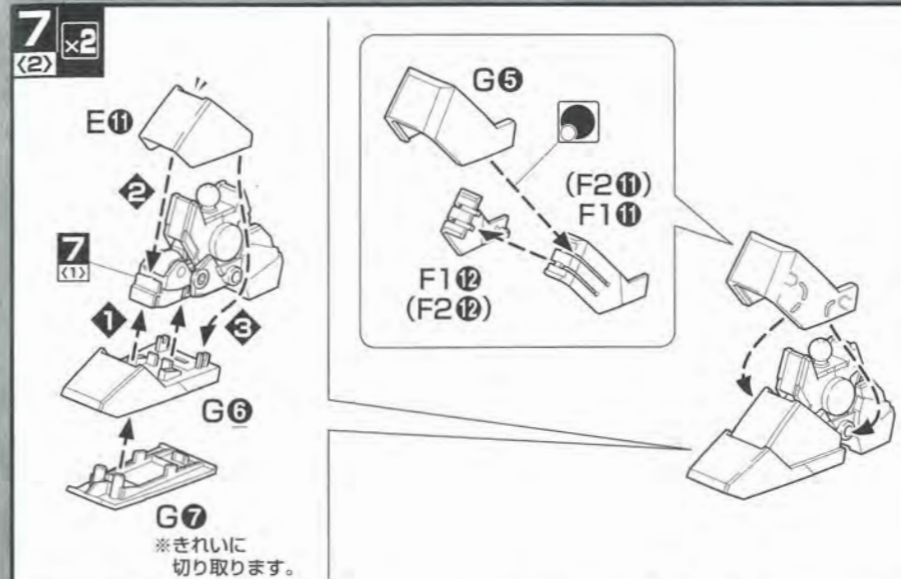
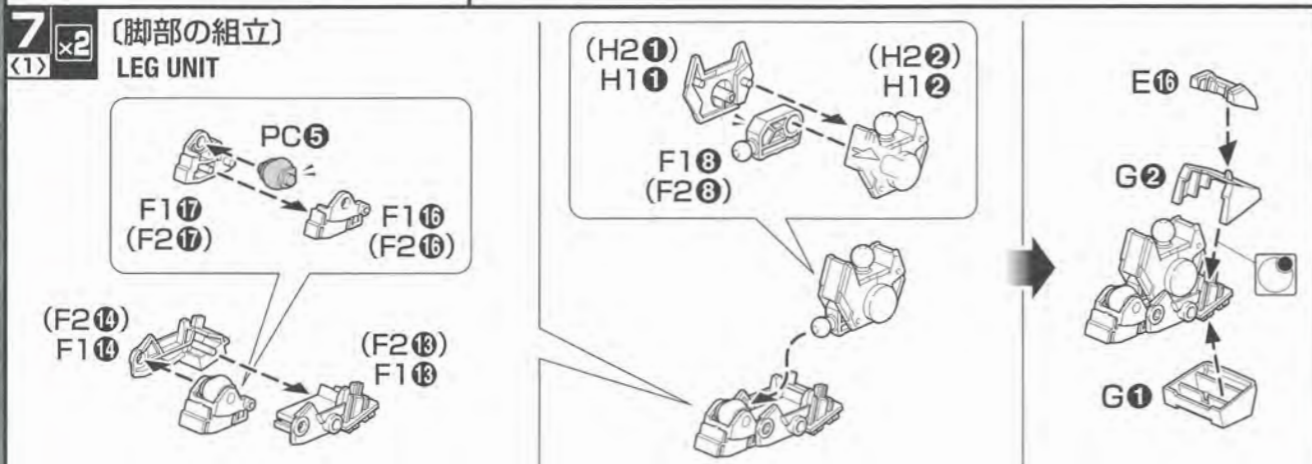
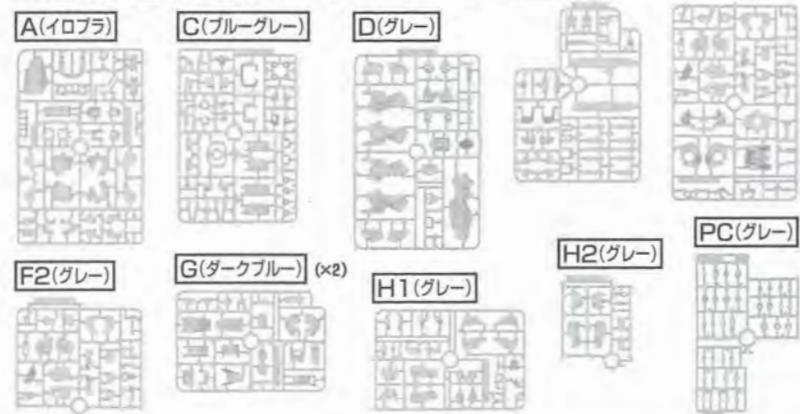
映像版のカラーイメージに合わせて関節色を変更。対ゼネラル・レベリオン戦で使用したロケット・バズーカが付属。



7 8 LEG UNIT



・組立7・8・9・10で使用するパーツ



7
(8)

※各パーツは、
全てきれいに
切り取ります。

※部品を折り曲げないように
注意してください。

前

※部品を折り曲げないように
注意してください。

前

※各パーツは、
全てきれいに
切り取ります。

※部品を折り曲げないように
注意してください。

前

8
(3)

※各パーツは、
全てきれいに
切り取ります。

※部品を折り曲げないように
注意してください。

前

※部品を折り曲げないように
注意してください。

前

※各パーツは、
全てきれいに
切り取ります。

※部品を折り曲げないように
注意してください。

前

7
(9)

※各パーツは、全てきれいに切り取ります。

前

※部品を折り曲げ
ないように注意
してください。

8 [左脚の組立]
(1) LEFT LEG

7 (5)

PC6

8
(4)

※各パーツは、全てきれいに切り取ります。

前

※部品を折り曲げ
ないように注意
してください。

10

5

C21

8
(2)

細い軸の方

※きれいに
切り取ります。

〈内側から見た図〉

9
(1) x2

F118 (F218)

E1 G18

9 [下半身の完成]
(2) LOWER BODY

6で作った腰部

7で作った右脚

8で作った左脚

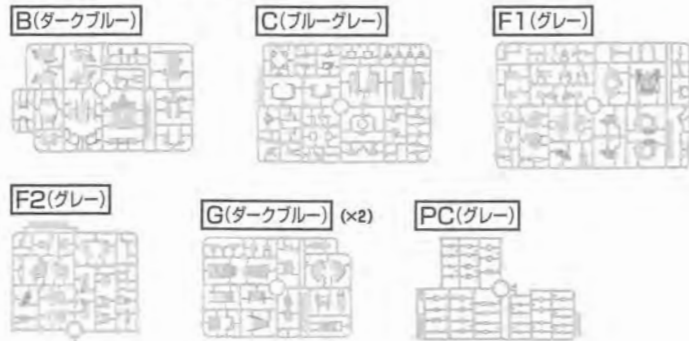
9

9

11 BACKPACK UNIT

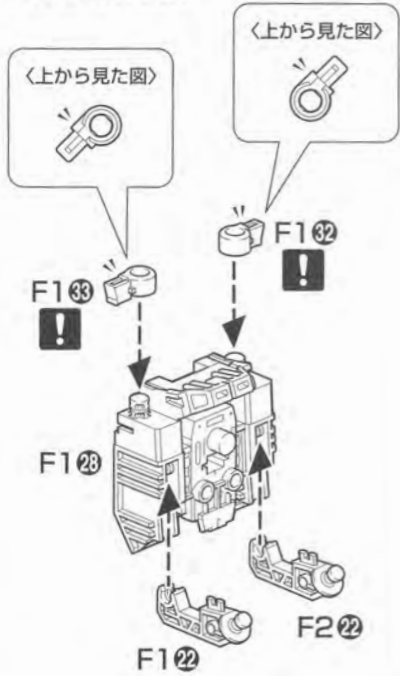


・組立11で使用するパーツ

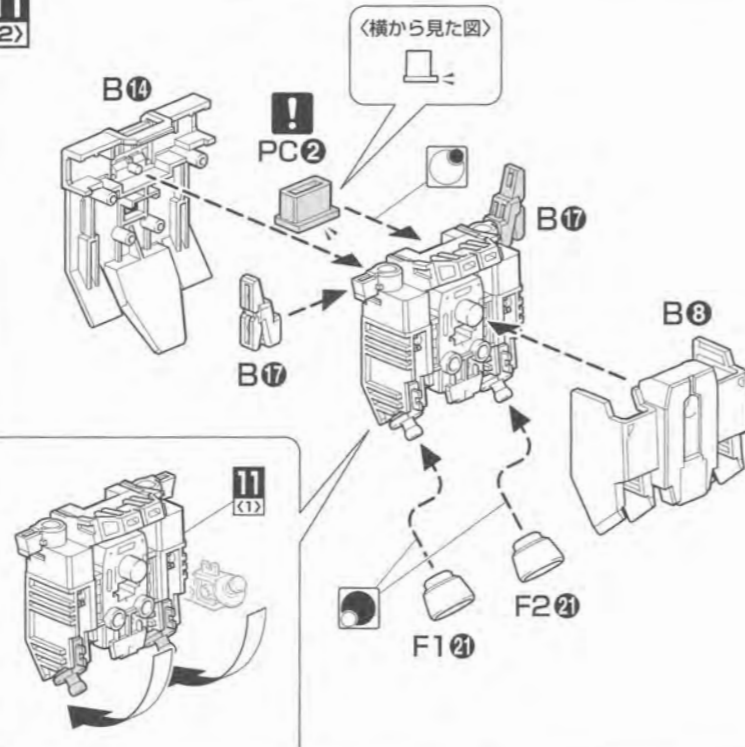


11 (バックパックの組立)

11 (1) BACKPACK UNIT

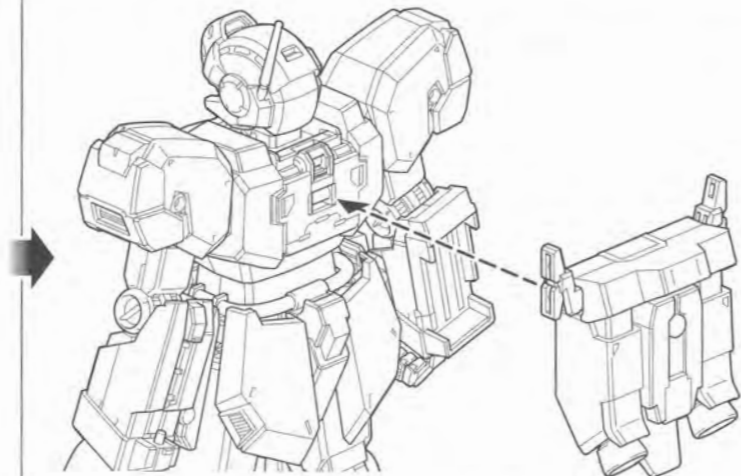
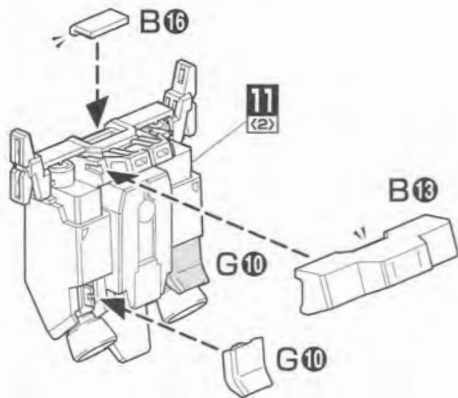


11 (2)



11 (完成)

11 (3) FINAL ASSEMBLE



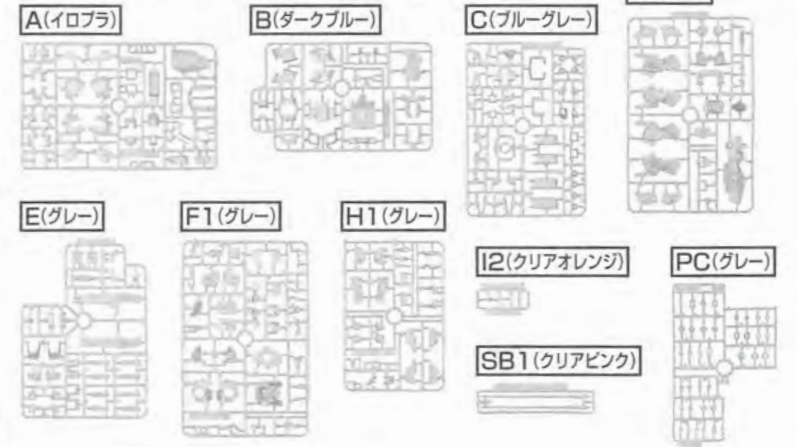
※C10は好きなところに飾ってください。

※組立図中の記号説明
 ! 向きに注意して組み立てる
 先に組み立てる
 後から組み立てる

12 13 14 WEAPONS

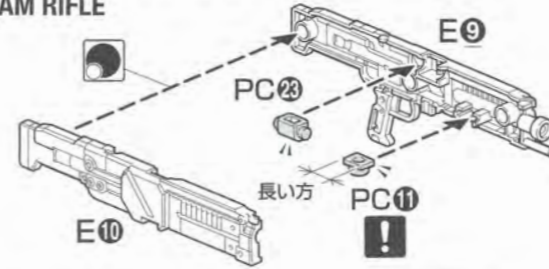


・組立12・13・14・15・17で使用するパーツ

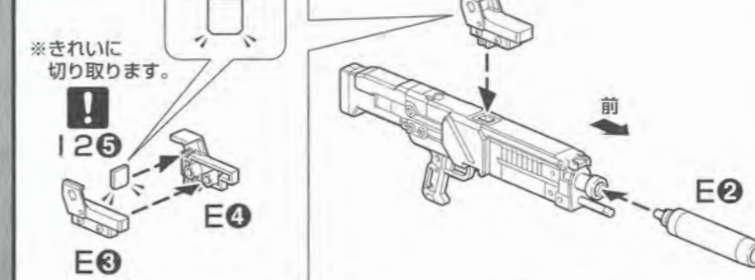


12 (ビーム・ライフルの組立)

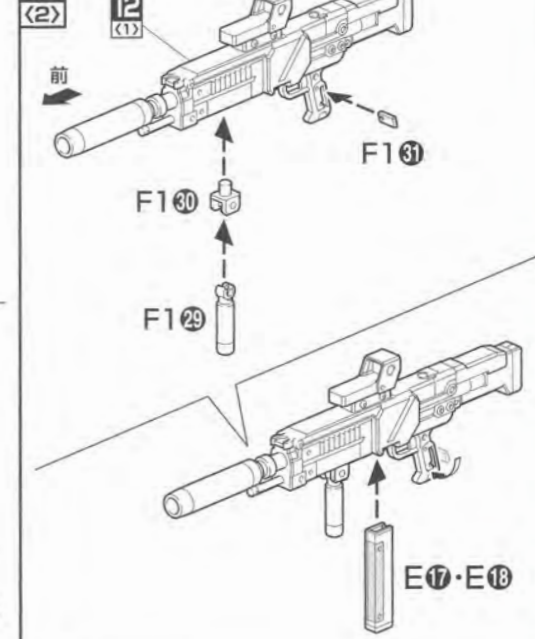
12 (1) BEAM RIFLE



12 (2)

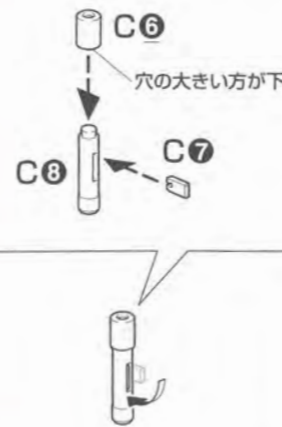


12 (2)



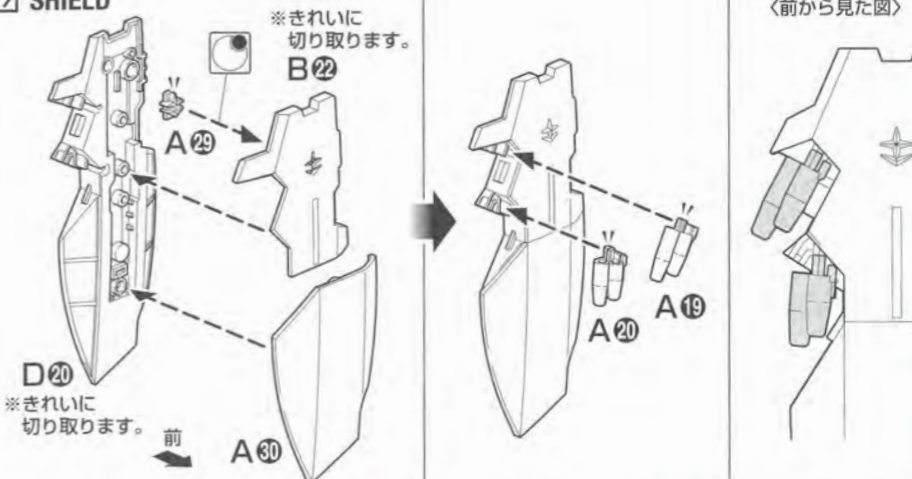
13 (ビーム・サーベルの組立)

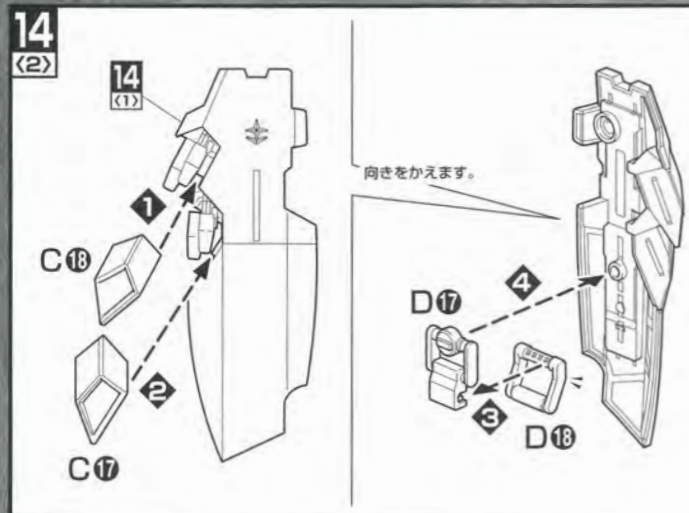
13 BEAM SABER



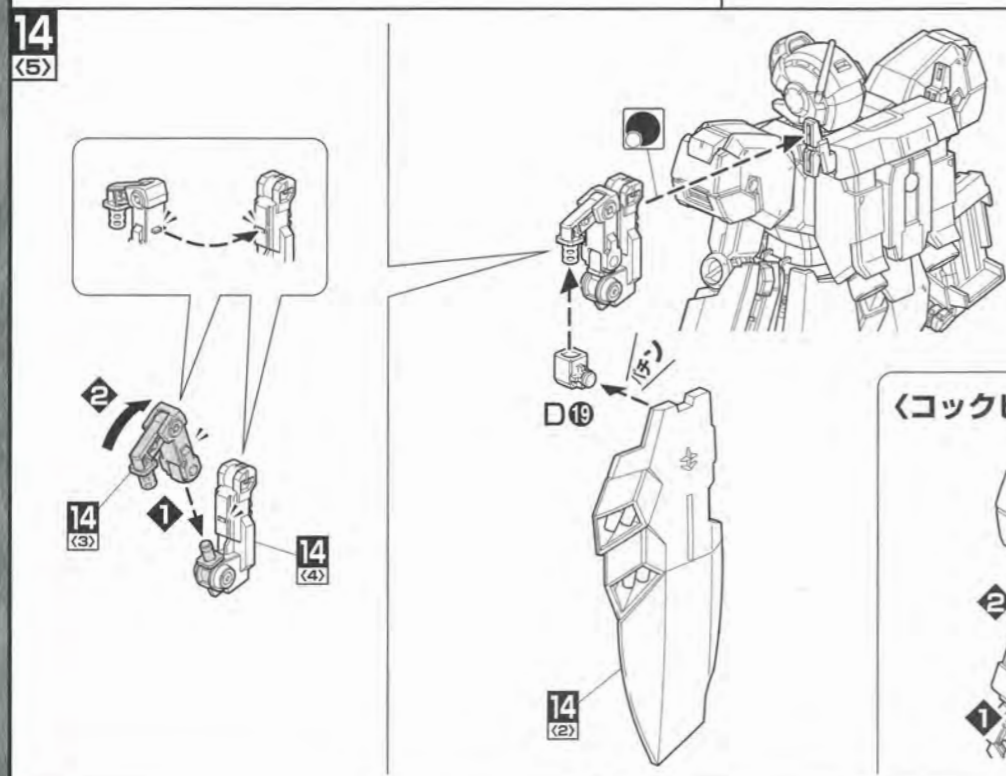
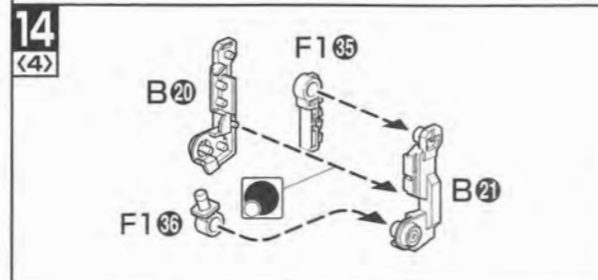
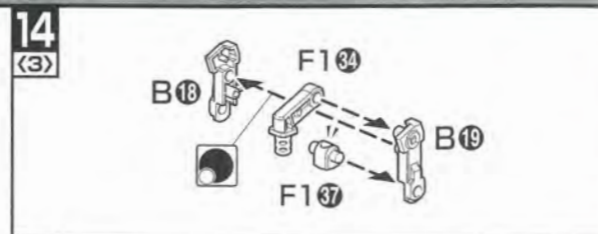
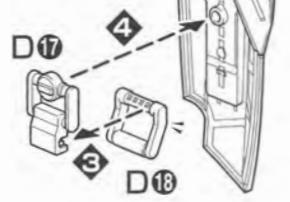
14 (シールドの組立)

14 (1) SHIELD

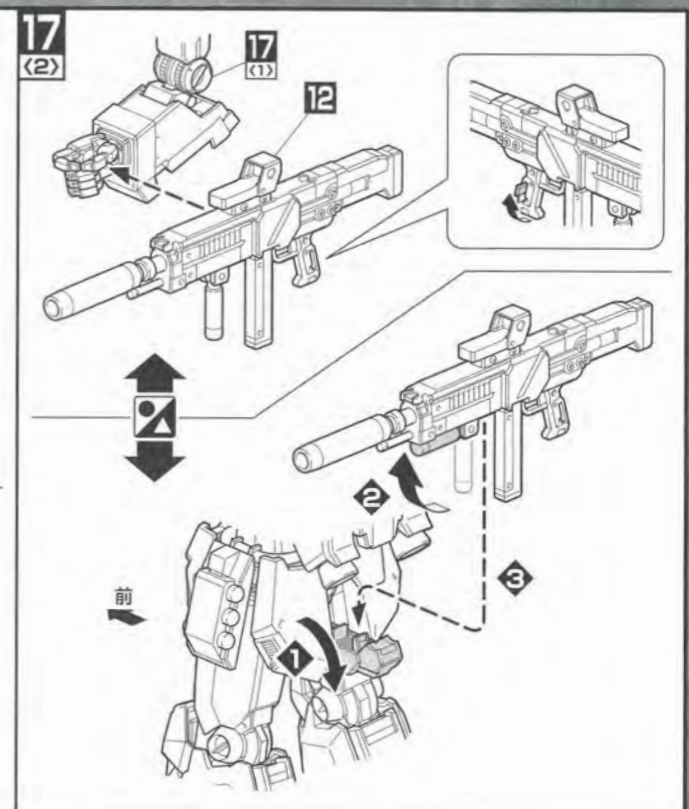
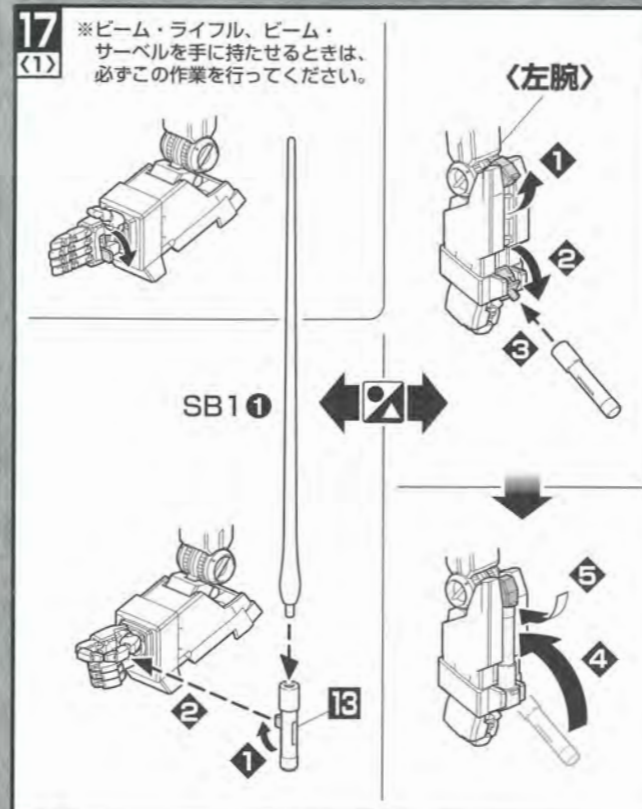
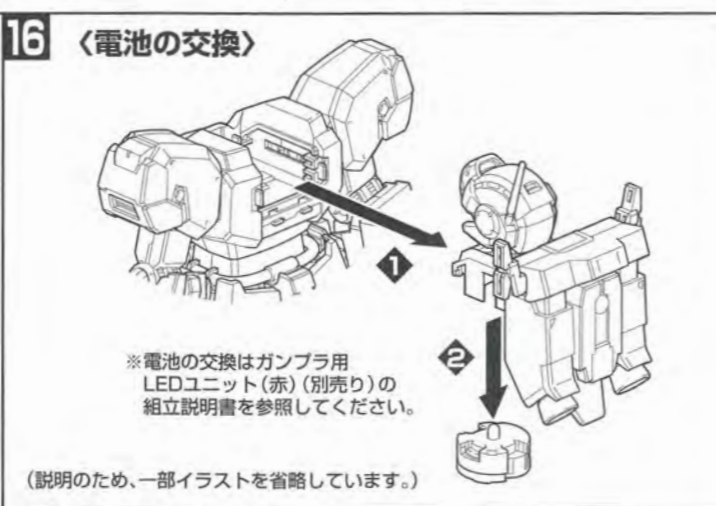
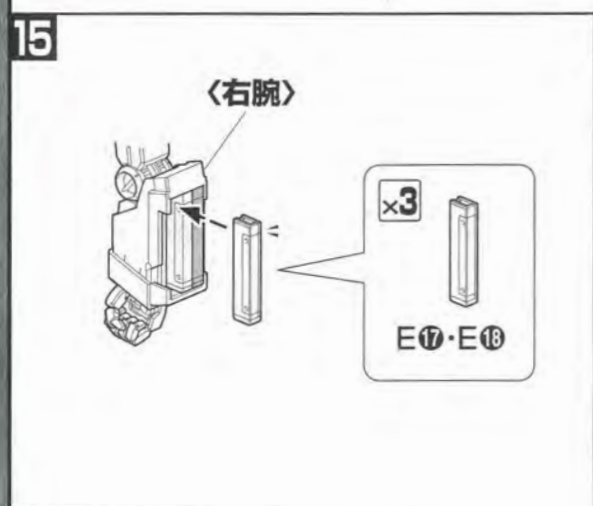




向きをかえます。



<コックピットハッチの開き方>

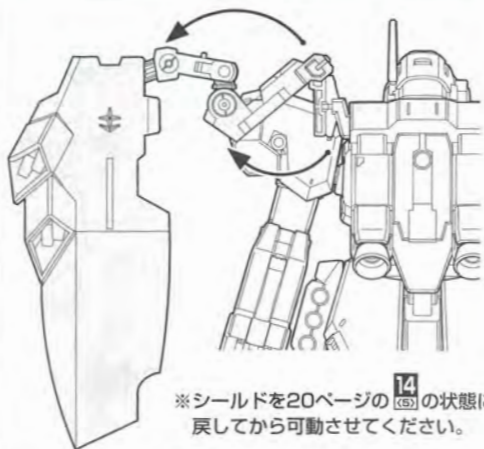


※組立图中的記号説明
 後から組み立てる
 部品を数値の個数作る

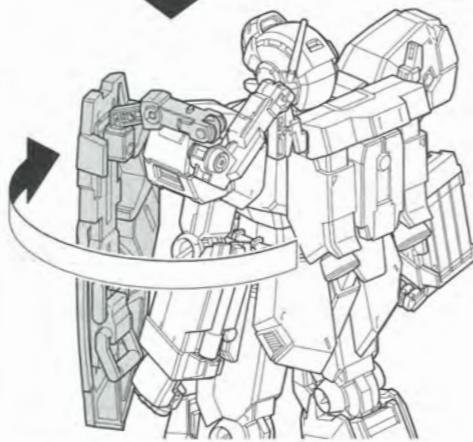
※組立图中的記号説明
 どちらかを選んで取りつける



※画像の完成品は塗装してあります。



※シールドを20ページの14の状態に戻してから可動させてください。

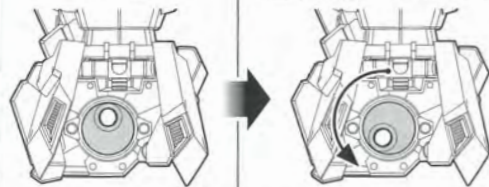


※ヒザ関節部をスライドさせると、可動範囲が広がります。



※通常時

※脚の可動範囲が広がります。



(説明のため、一部イラストを省略しています。)



H17

※バンダイプラモデルアクションベース1(別売り)を使用してディスプレイできます。

※画像の完成品は塗装してあります。

※画像はバンダイプラモデルアクションベース1(別売り)を使用しています。

Seal

(シール) 下の図を見て、マーキングシールやガンダムデカールの貼る位置を確認してください。

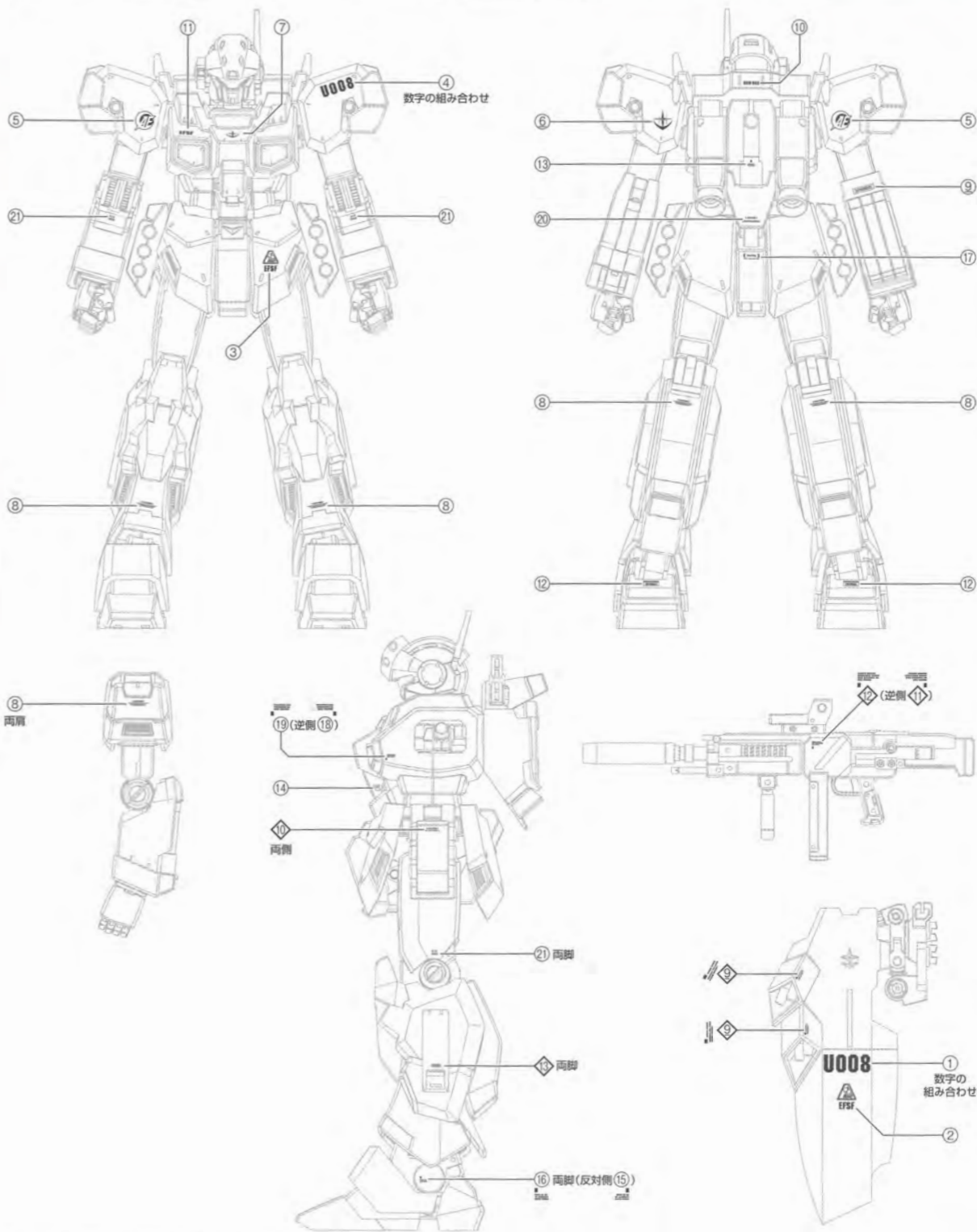
マーキングシールは○に数字
ガンダムデカールは◇に数字で表記してあります。

【例】①・・・マーキングシール ◇・・・ガンダムデカール

【ガンダムデカールの貼りかた】 ※P6のガンダムデカールの貼り方を参考に
あせらずゆっくり貼ってください。

1. 転写するマークを大きめに切り取ります。
2. 転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3. シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすり取ります。

このマーキングシール及びガンダムデカールはプラモデルオリジナルのもので、貼り指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。



※余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所に貼ってください。